

平成24年8月7日  
東北地方整備局

## 入札監視委員会の審議概要について (総会・第一部会第1回定例会議)

東北地方整備局入札監視委員会の平成24年度総会・第一部会第1回定例会議は、7月12日(木)に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要(別紙)についてお知らせします。

なお、第一部会第1回定例会議では、委員会が抽出した案件9件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

### 問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

(第一部会) 仙台市青葉区二日町9番15号

TEL (022) 225-2171 (代表)

主任監査官

熊谷伊佐男 (内線2114)

入札契約監査官

鈴木和弘 (内線2220)

契約管理官

阿部幸太 (内線2222)

技術開発調整官

國松廣志 (内線3120)

(第二部会) 仙台市青葉区花京院1丁目1番20号

TEL (022) 716-0013 (ダイヤル)

契約管理官

佐藤豊 (内線6221)

経理調達課課長補佐

鈴木重勝 (内線6554)

東北地方整備局 入札監視委員会 総会 審議概要

開催日及び場所	平成24年 7月12日(木) 東北地方整備局 大会議室
委員	別紙-1「委員名簿」のとおり ○欠席： 貝山道博 委員
審議概要	○ 総会においては、別添名簿のとおり、委員長及び委員長代理の選任と各委員の部会所属を決定した。  ○その他(報告事項) (1) 平成24年度東北地方整備局の事業概要

別紙 - 1

平成24年度 東北地方整備局 入札監視委員会 委員名簿

氏 名	職 業	役職・所属部会
いとうみつひこ 伊東満彦	(学) 東北学院大学 法科大学院 教授	第一部会
うしおようこ 牛尾陽子	(公財) 東北活性化研究センター フェロー	第一部会
かみやまみちひろ 貝山道博	(国) 山形大学 人文学部 教授	第二部会
きょうやたかし 京谷孝史	(国) 東北大学大学院 工学研究科土木工学専攻 教授	委員長 第一部会
くまがいまさひろ 熊谷真宏	公認会計士・税理士	第一部会
さいとうこうじ 齊藤幸治	弁護士	第二部会
まのあきら 真野明	(国) 東北大学 災害科学国際研究所 教授	委員長代理 第二部会

(五十音順：敬称略)

※東北地方整備局入札監視委員会について

- 東北地方整備局入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき設置されている第三者機関であり、次に掲げる事務を行います。
  - ① 当整備局が発注した工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等に関し、入札・契約手続の運用状況等について報告を受ける。
  - ② 委員会が抽出した案件に関し、その内容の審議を行い、意見の具申又は勧告を行う。
  - ③ 入札・契約手続及び指名停止等に係る再苦情処理を行う。
- 委員会には、2つの部会が設置されており、第一部会は港湾空港関係事務を除く事項を、第二部会は港湾空港関係事務に係る事項を取り扱います。

東北地方整備局 入札監視委員会（第一部会） 審議概要

開催日及び場所	平成24年 7月12日（木） 東北地方整備局 大会議室	
委員	部会長 京谷 孝史【(国)東北大学大学院 工学研究科土木工学専攻 教授】 部会長代理 熊谷 真宏【公認会計士・税理士】 委員 伊東 満彦【(学)東北学院大学 法科大学院 教授】 委員 牛尾 陽子【(公財)東北活性化研究センター フェロー】	
審議対象期間	平成24年 1月 1日 ～ 平成24年 3月31日	
審議案件	総件数 9件 (別紙-1 審議案件一覧のとおり)	
工 事	一般競争入札(政府調達)	1件
	一般競争入札 (政府調達以外)	3件
	工事希望型競争入札	1件
	工事希望型以外の指名 競争入札	1件
	建設コンサルタント業務等	2件
役務の提供等及び物品製造等	1件	
委員からの意見・質問、 それに対する説明・回答	別紙-2のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	別紙-3のとおり	

## 審議案件一覧

## 【工事】

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事)	仙台第1地方合同庁舎増築棟(11)建築工事	建築工事	8	7	平成24年3月22日	(株)熊谷組	6,587,700	88.7	営繕部

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	津軽ダム放流ゲート設備新設工事	機械設備工事	6	6	平成24年1月25日	豊国工業(株)	445,515	87.5	津軽ダム
一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	鱒沢地区橋梁上部工工事	鋼橋上部工事	23	21	平成24年2月24日	(株)東京鐵骨橋梁	375,900	87.8	岩手
一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	尾花沢構造物工事	一般土木工事	16	11	平成24年2月21日	(株)柿崎工務所	257,250	96.7	山形

入札方式	工事名	工事種別	技術資料の提出を要請した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
工事希望型競争入札方式	本荘国道維持出張所外壁改修外1件工事	建築工事	20	5	平成24年3月7日	(株)中山組	9,240	92.6	秋田

入札方式	工事名	工事種別	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
工事希望型以外の指名競争入札方式	石江地区門扉外移設工事	建築工事	11	5	平成24年3月6日	倉橋建設(株)	7,962	93.8	青森

## 【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
簡易公募型競争入札方式	今田地区橋梁詳細設計業務	土木関係建設コンサルタント	25	10	平成24年3月13日	(株)ドーコン	80,010	77.1	磐城国道

入札方式	業務名	業種区分	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
公募型及び簡易公募型以外の指名競争入札方式	大館地区資料作成	補償関係コンサルタント	10	10	平成24年2月22日	第一測量設計(株)	1,670	100.0	能代

## 【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業務名	業務分類	/	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式	CAD用パソコン外賃借及び保守(12-03)	役務の提供等		1	平成24年2月10日	太平工業(株)	3,069	48.8	北上川統管

1. 報告	
意見・質問	説明・回答
・なし	

2. 審議	
1 仙台第一地方合同庁舎増築棟（11）建築工事	
<p>・入札調書で2者が無効となっているがその理由は。</p>	<p>・1者は調査基準価格を下回る金額で入札を行い、「追加資料を提出しない」旨の申し出があったので無効とした。</p> <p>他の1者は、競争参加資格申請時と入札時に提出した技術提案書の内容が異なっていたため無効とした。</p>
2 津軽ダム放流ゲート設備新設工事	
<p>・一般競争入札 競争参加資格確認表の工場製作と据付の欄に点数が入っていたり、「-」だったりしているが、その理由は。</p> <p>・この競争参加確認表と入札調書の加算点との関係は。</p> <p>・入札調書には、加算点の合計点は記載されているが、各社毎の加算点の内訳が分かる資料はないのか。</p> <p>・入札調書を見ると、全社が調査基準価格に近い金額で入札しているが、精度の高い見積が可能なものなのか。もしくは何か別なものがあり得るのか。</p> <p>・今の説明からすると、数百万円単位の差があることがおかしくないか。</p>	<p>・当該発注では、技術者を専任で配置することを求めている。その技術者が過去の施工実績での評定点数を持っていれば、その評定点数を記載している。</p> <p>「-」は、その点数を持っていない技術者を今回配置予定としてきた。</p> <p>・この競争参加資格の点数は、いわば入口部分の評価で、参加資格の有無を確認している。それが入札調書の総合評価の点数に影響するものではない。</p> <p>・加算点の内訳は入札調書では分からない。</p> <p>加算点は、業者から提案される施工体制や技術提案業者の持っている施工能力等を総合的に判断して行う。この加算点については、別の第三者機関（総合評価委員会）でその内容が審議されている。</p> <p>・積算基準が公表されているので、比較的精度の高い積算ができており、調査基準価格の辺りに集中しているのではないかと考えている。</p> <p>・積算基準は、鋼材を加工する工数や間接費までも公表されている。ただし基準によらないもので、例えばゲートメーカーが他の専門メーカーから買わなくてはならないものがある。それは各社それぞれの事情があり、そういう点が差の生じるところではないかと考えられる。</p>

意見・質問	説明・回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・そういう点でしか差が生じないのであれば、業者間で調整等が可能ではないのか。業者にとってはローテーションで仕事を回してたほうがいいではないかという思考が働くのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的にゲートの設計は各社毎で違う。例えば板厚の考え方一つとっても各社のノウハウによるところなので、専門メーカーから取る見積金額のほか、そういったところで大きい差がつく可能性もあると思われる。</li> </ul>
<h3>3 鱒沢地区橋梁上部工工事</h3>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの者が350～360百万円位の間で入札している。工事内容は上部工2箇所の新設だが、2箇所で似たような価格なのか。相場感が分からないのだが、同種の類似工事でも同様なのか。</li> <li>・震災後、橋梁関係の業者は復旧に回って、通常の同種工事の方に回りにくいという話も聞く。そういった傾向からすると逆に落札率が高くなるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に市販の積算ソフトがあり、積算基準も公表されているので、かなりの精度で予定価格も調査基準価格も想定できる。自社の施工能力等を総合的に判断して原価を弾き出し、いくらだったら利益があがるのか。その検討結果が、この入札価格だと考えられる。</li> <li>・そうなることが想定されるが、実際は厳しい価格競争が行われているようである。 鋼橋上部工工事については、競争が非常に激しく、ほとんど調査基準価格の前後で競い合っている。業界からは「くじ引きみたいなもの」という指摘も受けているが、我々としては技術提案の中身で判断している。</li> </ul>
<h3>4 尾花沢構造物工事</h3>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・落札者の評価値が飛び抜けているが、その理由は。</li> <li>・今までの案件の落札率は80%台で推移している。ところがこの案件は、96.7%と高い。特殊な工事でもないのに高い落札率が気になる。</li> <li>・予定価格を意識した行動が続いているのは、予定価格もある程度予測できるということなのか。業者間の情報共有ができている可能性を疑いたくなる。 過去からの流れは妥当な流れだったのか。</li> <li>・経緯は良く分かるが、そのトレンド自体が続いている。もし情報共有がなされ、予定価格に近いものが出てくるとなると、談合を疑うべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術提案の点数が最も高く、間接費もかなり切り込んでいるようで最も低い金額で入札したことが、高い評価値となったと理解している。</li> <li>・当事務所管内は予定価格を強く意識しての応札行動があり、今回の入札結果でも予定価格を挟んでの攻防となっている。今後、管内の発注量が減ってくれば調査基準価格を意識した入札に変わって行くかもしれない。</li> <li>・業界との意見交換の場において、労務単価一つとっても、10年前と比べてかなり下がってきており、会社の経営状況は厳しい中で、それなりの利益率を確保したいという話を聞いた。過去からの流れでこのモードになっているのではないか。</li> <li>・2月21日契約締結後、震災等の影響で発注が増え労務単価がかなり上がっているが、山形は被災地ではないのでプラスアルファはしていない。結果的に作業員が、賃金が高い宮城県に流れる傾向がある。大手と違って間接費がかなり厳しいと思われる。他の特殊要因の有無についても、今後分析していきたい。</li> </ul>

意見・質問	説明・回答
<p>・ずっと落札率が高いままで推移している。5～10年も続いていることが、変だとは思わないのか。</p>	<p>・事務所管内全体の落札率が高いという話もある。入札が1者のみの不自然な場合もあるが、今回は予定価格内に他の何社か入っており、競争性は確保されている。</p> <p>談合疑義であっても、業者にヒアリングを実施した場合は、公正取引委員会に報告する等の対応をしている。</p>
<p><b>5 本荘国道維持出張所外壁改修外1件工事</b></p>	
<p>・なし</p>	
<p><b>6 石江地区門扉外移設工事</b></p>	
<p>・3回目の発注ということだが、このような比較的規模の小さい案件で、3回も入札を行うような案件が他にもあるのか。</p> <p>・技術者の配置等に問題があるということか。</p>	<p>・当事務所では、建築工事の発注数が少ない。</p> <p>入札が成立しなかった理由は、青森県内においても太平洋沿岸地域は被災をしており、その復旧に多くの地元建築業者があたっている。、配置予定技術者の確保、あるいは作業にあたる作業員等が逼迫しているのではと分析している。</p> <p>・東北全体を見渡しても、直轄は地方自治体発注のような不調・不落問題は顕著化していない。</p> <p>しかし、小規模の建築工事では最近そのような傾向が見られる。委員会からの要求であれば、次回にお示ししたい。</p> <p>参加しない業者に聞き取っているわけではないが、同じ技術者を配置するのであれば、規模の大きなものや、利潤が多く見込めるものに参加するものと考えられる。加えて、技能作業員を手配できないこともあるかもしれない。</p>
<p><b>7 今田地区橋梁詳細設計業務</b></p>	
<p>・高速道路の橋梁設計は、場所や長さ、さらには規格も大体決まっていると思うが、どうして70百万円という価格設定になるのか。</p> <p>・地盤調査を含めて、何人で何日かけて設計しているのか。</p>	<p>・この業務は歩掛りが公表されている。橋脚の設計は、上部工と下部工、そして基礎工と大きく3つを設計する業務となっている。</p> <p>設計内容は、それぞれ桁の間隔も形状も異なる3種類の橋梁合計720mの設計を求めており、各々を積上げた結果、このような予定価格となった。</p> <p>・具体的に何人で何日というデータは持ち合わせていないが、基本的にパソコンやソフトを駆使しても3～4ヶ月は優にかかる設計である。</p>



意見・質問	説明・回答
<p>・入札調書を見ると、9者の内6者までが76.2～76.3百万円に集中している。技術点を見ると、落札者の技術点が頭一つ抜け出ている。落札したのは価格ではないということか。</p> <p>・パソコンソフトもあり、入札金額も大体が固まっている。旅費・交通費等の違いの話もあったが、結局、入札する意味があるのか。</p> <p>・ここに競争参加して来る業者は、大方相手の技術力は分かる。分かっているのに正真の競争といえるのか。</p> <p>・同種業者であり、どの程度の技量があるか把握できるのでは。</p>	<p>・総合評価落札方式なので、技術点と価格点とを総合的に評価して落札者を決定する。即ち、評価値の最も高い者が落札する。        なお、旅費・交通費等については各社毎にそれぞれ違うので、その差が入札金額に表れてくる。</p> <p>・本来であれば、それぞれの技術力で勝負している。橋梁の設計については、発注量と受注量のバランスが取れていないことから競争が激しい。調査基準価格を下回る入札だと非常に厳しい審査があって、受注することがほぼ困難となる。よって調査基準価格ギリギリで札を入れてくる。        当然、技術点も一番でないと勝負にならない。ギリギリの価格と優秀な技術提案の中で、落札者が決まっていく。</p> <p>・会社にいる技術者の誰を付けるかによって、この総合評価の点数も変わってくるということで、毎回同じ条件で競争することにはならない。また、一般競争入札でなおかつ電子入札を実施しているので、競争に参加する者が分からない仕組みになっており、談合できないシステムとなっている。</p> <p>・多くの業務が発注されているが、参加可能業者が全て入札に応募している訳でない。</p>
<p><b>8 大館地区資料作成</b></p>	
<p>・落札率100%というのは宝くじが当たったくらいの偶然性なのか。</p> <p>・それぞれが近接の価格となっていて、1者だけは1.6百万円を切っている。これに対して何らかの調査をしているのか。</p> <p>・補償業務管理士の資格がなければできない業務か。        業務内容は不動産の公図の転写、土地登記記録調査だが、不動産の登記関係に詳しい方であれば、業務は可能ではないのか。        指名の条件が狭められているのではないか。</p>	<p>・おっしゃる通りである。</p> <p>・この案件は本局に報告している。        積算の歩掛りや、単価は公表されているし、非常に少額で極めて単純な作業内容なので、かなりの精度で積算もできることから、ほぼピッタリのところで札を入れてきたものと考えられる。</p> <p>・今回の業務は補償業務管理士の資格がなくても可能である。業者選定の客観性を確保するため、補償業務管理士等の資格者の人数を点数化して、指名業者を選定するための要素の1つとしている。</p>

意見・質問	説明・回答
<b>9 CAD用パソコン外賃貸借及び保守（12-03）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定価格はどのように積算したのか。</li> <li>・ なぜ1社入札なのか。</li> <li>・ 何でリース契約なのか。</li> <li>・ なぜ、リースでなければならないのか。大型量販店等からの購入で保守契約を結ぶという選択肢はないのか。再度ご検討頂きたい。 技術革新が激しい中、4年間ものリース契約では、パソコンの性能が追いついていけないのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定価格は、岩手県内の業者から参考見積をとり、それに基き予定価格を積算している。</li> <li>・ 分からない。反対に我々はたくさんの業者に来て欲しいと思っている。</li> <li>・ 洪水・出水等に対応する為のパソコンを確保し、どんな時でもメンテナンス可能なことから保守を含めたリース契約としている。 各地方整備局とも保守・維持管理等を合わせた賃貸借契約が主流になっている。</li> <li>・ 市場の実勢価格を調べるために今後大型量販店の価格も調査していきたい。リースなのか購入なのかについては、全体として検討していきたい。</li> </ul>

### 3. 委員会による意見の具申又は勧告内容

本日の審議結果について、意見の具申又は勧告事項はありません。  
今後とも、入札及び契約手続における一層の透明性・競争性の確保に留意し、入札・契約業務の適正かつ厳正な執行を行っていただきたい。

なお、要望が3点あります。

1点目は、補償コンサルタント業務の案件について、透明性及び競争性の観点から資格要件の工夫等方策を検討願いたい。

2点目は、落札率は地域の実情により違うものなのか。違うのであれば今後説明していただきたい。

3点目は、市販の積算ソフトの精度は、どの程度のものなのか。

#### 【当局からのコメント】

要望いただいた案件について、透明性及び競争性を高めるよう今後前向きに検討していきたい。

また、質問いただいた2点について、資料があればお示ししたい。